

解剖学 [歯の解剖学]

担当講座（分野）：解剖学講座（機能形態学分野）

第1学年 後期

後期

講義
42時間

教育成果（アウトカム）

歯の形態の意義、構造の理由を個体発生・系統発生的に学ぶことにより、ヒトの歯の基本的な構造や形態の普遍性と変異を理解できるようになる。また、歯の外形を、内部構造を想像しながらスケッチする、あるいは提示する演習課題についてまとめることを通して、歯科臨床に必要な歯の立体構造について理解できるようになる。（ディプロマポリシー：5、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各講義において事前学習すべき教科書のページを示すのであらかじめ読んでおくこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月3日(火) 1, 2限	藤原尚樹准教授	歯の解剖 概論 歯とはなにか、歯の用語、ヒトの臼歯の進化を理解する。	1. 歯の概念を説明できる。 2. 歯の進化を説明できる。 3. 進化と退化を区別できる。 4. 歯の方向用語を説明できる。 5. 歯列を説明できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-①～②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P1～P36
9月10日(火) 1, 2限	藤原尚樹准教授	歯の解剖 スケッチ特論 I 歯の測定法、ノギスの使い方を理解する。	1. 歯の概念を図解できる。 2. 歯の方向を表現できる。 3. 歯の左右側鑑別点を図解できる。歯の外形を理解するための計測ポイントを理解できる。 4. ノギスを正しく使用し、歯の外形を計測できる。 [E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P187～P199

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月17日(火) 1限	藤原尚樹准教授	上・下顎切歯Ⅰ ヒトの切歯の形態を理解する。	1. 切歯の概念を説明できる。 2. 上顎中切歯を説明できる。 3. 上顎側切歯を説明できる。 4. 下顎中切歯を説明できる。 5. 下顎側切歯を説明できる。 6. 上下顎切歯の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P37～P52
9月24日(火) 1限	藤原尚樹准教授	上・下顎切歯Ⅱ ヒトの切歯の形態を理解する。	1. 上顎中切歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 上顎側切歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 3. 下顎中切歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 4. 下顎側切歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P37～P52 9月17日の講義内容を復習しておくこと。
9月24日(火) 2限	藤原尚樹准教授	上・下顎犬歯Ⅰ ヒトの犬歯の形態を理解する。	1. 犬歯の定義を説明できる。 2. 上顎犬歯を説明できる。 3. 下顎犬歯を説明できる。 4. 上下顎犬歯を区別できる。 5. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P53～P56
10月1日(火) 1限	藤原尚樹准教授	上・下顎犬歯Ⅱ ヒトの犬歯の形態を理解する。	1. 上顎犬歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 下顎犬歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P53～P56 9月24日の講義内容を復習しておくこと。
10月1日(火) 2限	藤原尚樹准教授	上顎小白歯Ⅰ 上顎小白歯の形態を理解する。	1. 上顎小白歯の概念を説明できる。 2. 上顎第一小白歯を説明できる。 3. 上顎第二小白歯を説明できる。 4. 歯の進化を説明できる。 5. 第一・第二小白歯を区別できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P56～P61

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月7日(月) 2限	藤原尚樹准教授	上顎小白歯Ⅱ 上顎小白歯の形態を理解する。	1. 上顎第一小白歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 3. 上顎第二小白歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P56～P61 10月1日の講義内容を復習しておくこと。
10月8日(火) 1限	藤原尚樹准教授	下顎小白歯Ⅰ 下顎小白歯の形態を理解する。	1. 下顎小白歯の概念を説明できる。 2. 下顎第一小白歯を説明できる。 3. 下顎第二小白歯を説明できる。 4. 歯の進化を説明できる。 5. 第一・第二小白歯を区別できる。 6. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P62～P66
10月28日(月) 2限	藤原尚樹准教授	下顎小白歯Ⅱ 下顎小白歯の形態を理解する。	1. 下顎第一小白歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 下顎第二小白歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習課題： 教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P62～P66 10月28日の講義内容を復習しておくこと。
10月29日(火) 1限	藤原尚樹准教授	上顎大臼歯Ⅰ 上顎大臼歯の形態と進化、退化を理解する。	1. 上顎大臼歯の概念を説明できる。 2. 上顎第一大臼歯の特徴を説明できる。 3. 上顎第二大臼歯の特徴を説明できる。 4. 咬合圧の負担を説明できる。 5. 歯の進化と退化の概念を説明できる。 6. 多根歯を説明できる。 7. 左右側の鑑別点を説明できる。 8. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。 9. 人種差を説明できる。 10. 第一・第二大臼歯を区別できる。 11. 第三大臼歯を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P66～P76
11月5日(火) 1限	藤原尚樹准教授	上顎大臼歯Ⅱ 上顎大臼歯の形態と進化、退化を理解する。	1. 上顎第一大臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 3. 上顎第二大臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P66～P76 10月29日の講義内容を復習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月12日 (火) 1限	藤原尚樹准教授	下顎大白歯Ⅰ 下顎大白歯の形態と進化退化を理解する。	1. 下顎大白歯の概念を説明できる。 2. 下顎第一大臼歯の特徴を説明できる。 3. 下顎第二大臼歯の特徴を説明できる。 4. 咬頭の機能を説明できる。 5. 臼歯の進化と退化の概念を説明できる。 6. 咬頭数と裂溝の関連性を説明できる。 7. 左右側の鑑別点を説明できる。 8. 人種差を説明できる。 9. 第一・第二大臼歯を区別できる。 10. 第三大白歯を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P76～P83
11月15日 (金) 2限	藤原尚樹准教授	下顎大白歯Ⅱ 下顎大白歯の形態と進化退化を理解する。	1. 下顎第一大臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 下顎第二大臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P76～P83 11月12日の講義内容を復習しておくこと。
11月19日 (火) 1限	藤原尚樹准教授	歯髄腔、歯列・咬合Ⅰ 歯髄腔の形態と加齢変化を理解する。 歯列弓の形態、大きさ、上下顎の咬合状態を理解する。 歯科保存(齶蝕・歯内療法学・歯周療法学)に関連する臨床解剖学を理解する。	1. 歯髄腔の概念を説明できる。 2. 歯の外景と歯髄腔の関連性を説明できる。 3. 各歯について歯髄腔形態を説明できる。 4. 歯髄腔の加齢変化を説明できる。 5. 髓室と根管の区別が説明できる。 6. 歯根数と根管数の関連性を説明できる。 [E-2-2)-④, E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P125～P141
11月22日 (金) 2限	藤原尚樹准教授	歯髄腔、歯列・咬合Ⅱ 歯髄腔の形態と加齢変化を理解する。 歯列弓の形態、大きさ、上下顎の咬合状態を理解する。 歯科保存(齶蝕・歯内療法学・歯周療法学)に関連する臨床解剖学を理解する。	1. 各歯について根管の特徴を説明できる。 2. 歯頸隆線、接触点、辺縁隆線と食物の流れについて説明できる。 3. 歯根の数と根管の数、根管形態と歯内療法を関連づけて説明できる。 4. 日本人の歯列の形態、大きさの特徴を説明できる。 [E-2-2)-④, E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P143～P185 11月19日の講義内容を復習しておくこと。
11月26日 (水) 1限	藤原尚樹准教授	永久歯 まとめⅠ 到達度試験 (永久歯、歯髄腔、歯列・咬合)	1. 上下顎永久歯の鑑別点を説明できる。 2. 永久歯の左右の鑑別点を説明できる。 3. 永久歯歯種の鑑別点を説明できる。 4. 永久歯の特徴を描写できる。 [E-3-1)-②] 事前学習 ：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P1～P83

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月29日 (金) 2限	藤原尚樹准教授	永久歯 まとめⅡ 到達度試験 (永久歯、歯髄腔、歯列・咬合)	1. 上下顎永久歯の鑑別点を説明できる。 2. 永久歯の左右の鑑別点を説明できる。 3. 永久歯歯種の鑑別点を説明できる。 4. 永久歯の特徴を描写できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P1～P83
12月3日(火) 1限	藤原尚樹准教授	乳歯 総論Ⅰ 乳歯の形態的特徴を理解する。	1. 乳歯の概念を説明できる。 2. 乳歯の特徴を説明できる。 3. 乳歯の萌出を説明できる。 4. 歯の交換を説明できる。 5. 臼歯結節を説明できる。 6. 原始的形態と歯の進化を関連して説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P85～P93
12月6日(金) 2限	藤原尚樹准教授	乳歯 総論Ⅱ 乳歯の形態的特徴を理解する。	1. 乳歯の概念を説明できる。 2. 乳歯の特徴を説明できる。 3. 乳歯の萌出を説明できる。 4. 歯の交換を説明できる。 5. 臼歯結節を説明できる。 6. 原始的形態と歯の進化を関連して説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P85～P93 12月3日の講義内容を復習しておくこと。
12月10日 (火) 1限	藤原尚樹准教授	上・下顎乳切歯Ⅰ 上・下顎乳犬歯Ⅰ 乳切歯、乳犬歯の形態的特徴を理解する。	1. 乳切歯、乳犬歯の特徴を説明できる。 2. 上顎乳切歯、乳犬歯の形態を説明できる。 3. 下顎乳中切歯、乳犬歯の形態を説明できる。 4. 永久歯との鑑別点を説明できる。 5. 左右側の鑑別点を説明できる。 6. 代生歯胚の発育場所を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P93～P104
12月13日 (金) 2限	藤原尚樹准教授	上・下顎乳切歯Ⅱ 上・下顎乳犬歯Ⅱ 乳切歯、乳犬歯の形態的特徴を理解する。	1. 上顎乳切歯、乳犬歯の形態を理解し、スケッチに表現できる。 2. 下顎乳中切歯、乳犬歯の形態を理解し、スケッチに表現できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P93～P104 12月10日の講義内容を復習しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
12月17日 (火) 1限	藤原尚樹准教授	上顎乳臼歯Ⅰ 上顎乳臼歯の形態と進化を理解する。	1. 乳臼歯の特徴を説明できる。 2. 上顎乳臼歯を説明できる。 3. 臼歯の進化が説明できる。 4. 左右側の鑑別点が説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P104～P113
12月20日 (金) 2限	藤原尚樹准教授	上顎乳臼歯Ⅱ 上顎乳臼歯の形態と進化を理解する。	1. 上顎乳臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 左右側の鑑別点が説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P104～P113 12月17日の講義内容を復習しておくこと。
1月9日(木) 1限	藤原尚樹准教授	下顎乳臼歯Ⅰ 下顎乳臼歯の形態と進化を理解する。	1. 下顎乳臼歯の特徴を説明できる。 2. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。 3. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P114～P124
1月9日(木) 2限	藤原尚樹准教授	下顎乳臼歯Ⅱ 下顎乳臼歯の形態と進化を理解する。	1. 下顎乳臼歯の特徴を理解し、スケッチに表現できる。 2. 第二乳臼歯と第一大臼歯の鑑別点を説明できる。 3. 左右側の鑑別点を説明できる。 [E-3-1)-②] 事前学習：教科書の以下の領域を読み、内容をまとめておくこと。P114～P124

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	図説 歯の解剖学 2版	高橋和人ほか著	医歯薬出版	1998年
教	口腔顎顔面解剖ノート	藤村朗ほか編、井出吉信 監修	学建書院	2014年
参	日本人永久歯の解剖学	上條雍彦 著	アナトーム社	1962年

成績評価方法

<p>講義と提出物（スケッチ等）を総合して合計が60点以上を合格とする。 内訳：到達度試験と後期試験（60%）、講義で課す提出物（40%）。</p>
--

特記事項・その他

<p>各講義において学習した内容は、次回以降の講義の基盤となる。また、各歯種の特徴についての講義と、次の時間のスケッチ演習の時間とは連動している。すなわち、各講義はすべて積み重ねの講義体系を取っているため、講義ごとにその内容をしっかり理解しておく必要がある。それには教科書や参考資料において各歯種の形態的特徴についての記載を読み、理解できない内容についてリストアップしておくなど事前学習が重要であり、そのことが、講義内容の整理を助ける。また、講義期間の中ほどに、到達度試験を設</p>
--

定しており、それまでの単元の振り返りをするための動議づけになっている。
 各単元において、事前学習すべき教科書のページを指示するので、それを参考に事前学習を行うこと。
 定期的に演習課題を提示し、学生同士で教えあう時間を設け、全体及び個々の学生の理解を深める。

WebClass において、アクティブラーニングの課題や、その他の情報提示、フィードバックを行うので、使
 用法を確認しておくこと。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的	
ノートパソコン ProBook Notebook PC	450 G2	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成
デスクトップパソコン Workstation 一式	Z840	1	基礎実習・研究用機器 視聴覚用(学部授業他)機器	授業のデモ及び研究データ解析 用
カラーコピー機 image RUNNER ADVANCE	C3530F II	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成
TeraStation TS3410DN 4TB	TS3410DN0404	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成
無停電電源装置	BN75T	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成
MS シュレッダー	MSR-25CM	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成
ノートパソコン	New XPS15	1	視聴覚用機器	講義の配布資料作成